

2011年度

科目名	経済と社会A			
担当教員	村上 慎司			
配当	文 1・教育1・人間1	コード	23025	
開期	前期	講時	火曜日3限	単位数 2
授業テーマ	経済学の観点を中心に我々が暮らす日本社会の諸問題を学習・思考する。			
目的と概要	<p>本科目の目的は、高校までの政治経済、倫理、歴史、数学等を踏まえた上で経済学と隣接社会科学の観点から、我々が暮らす日本社会の諸問題の現状と背景を学び、その解決に向けて考える。</p> <p>現代日本社会は経済と深く結びついている。例えば、消費行動、労働を通じた所得獲得、各種の納税、社会保障受給等が挙げられる。だが、現代社会は、不安定な労働、財政赤字、格差や貧困等の困難な問題に直面している。これらの問題に対して、経済学は有効な分析手法を提供する。とはいえ、経済学にも限界がある。そこで、本科目は、その限界を政治哲学を中心とする隣接社会科学で補いつつ、具体的には、(1)経済学の基本事項、(2)労働、(3)税金、(4)社会保障についての講義を行う。</p>			
成績評価法	期末試験(80%)と、講義時の平常点(20%)で、評価する。 詳細は初回のオリエンテーションで説明する。			
テキスト				
参考書	世界一シンプルな経済入門 経済は損得で理解しろ！／飯田泰之／エンターブレイン これからの「正義」の話をしよう／マイケル・サンデル／早川書房 税を直す／立岩真也／青土社			
履修に当たっての注意・助言/準備学習	オリエンテーションでは、講義の詳細について説明するので、必ず出席しなければならない。なお、本科目は座席制を導入し、私語・携帯電話の使用・遅刻等の真摯な学習態度ではない行為は厳格に処罰する。 準備学習として、前回までの配付資料を熟読することが必須である。また、経済と社会に関連する新聞や報道に関心を持つことが推奨される。			
講義計画				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 経済学の基本事項 (1)</li> <li>3. 経済学の基本事項 (2)</li> <li>4. 経済学の基本事項 (3)</li> <li>5. 労働について (1)</li> <li>6. 労働について (2)</li> <li>7. 労働について (3)</li> <li>8. 税金について (1)</li> <li>9. 税金について (2)</li> <li>10. 税金について (3)</li> <li>11. 社会保障について (1)</li> <li>12. 社会保障について (2)</li> <li>13. 社会保障について (3)</li> <li>14. 社会保障について (4)</li> <li>15. まとめ</li> </ol>				